

きみつ市議会 だより

CONTENTS

- 2 第1回臨時会・第4回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(8議員が質問)
- 9 委員会の焦点



第1回臨時会・第4回定例会

発行／君津市議会 編集／きみつ市議会だより編集委員会



九十九谷展望公園から見る日の出



九十九谷展望公園は鹿野山の一角にあり、高宕山などの上総丘陵が幾重にも連なる光景を眼下に一望できるほか、秋から冬の早朝には、気象条件によっては雲海が現れ、幻想的な風景が広がります。また、初日の出スポットとしても知られており、元日には多くの方で賑わいます。遠くの山並みから日が昇る美しい光景をぜひ一度ご覧ください。

第1回臨時会 第4回定例会 の あらまし

臨時会

生活支援に係る

一般会計補正予算など

議案4件を議決

第1回臨時会は、11月11日の1日間の会期で開かれました。

市長提出の4議案は、議案第1号はコンビニエンスサービスによる証明書等の発行手数料を減額するもの、議案第2号は学校給食食費無償化の期間を延長するもの、議案第3号及び議案第4号は物価高騰対策を主とした補正予算で、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

※議案の審議結果については、4ページに掲載しています。

定例会

各施設の指定管理者の 指定など

議案39件、 陳情2件を議決

陳情2件を議決

第4回定例会は、11月29日から12月16日までの18日間の会期で開かれました。

今定例会では、令和4年度君津市一般会計補正予算(第9号)など市長提出の39議案、陳情2件を審議し、慎重審議の結果、陳情2件は不採択、そのほかは、原案のとおり可決・同意されました。

一般質問では、8人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

10月の補欠選挙で当選された鶴岡一成議員、齋藤利生議員の所属委員会が決まりました。

- 鶴岡 一成 議員
 - ・ 総務常任委員会
 - ・ 公共交通調査特別委員会
- 齋藤 利生 議員
 - ・ 総務常任委員会
 - ・ 脱炭素社会調査特別委員会

本会議討論

● 陳情第11号

子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書

(陳情の趣旨)

保育士の配置基準は70年以上見直されていないものもあり不十分であるため、国に対して配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求めるもの。

反対

保育士不足や待機児童の発生は、全国的な問題となっており、本市においても喫緊の課題であることから、待機児童の解消に向けた取組や、保育士の処遇改善を進めていかなければいけないという趣旨については、理解できるものであるが、保育士の配置基準を一律に引き上げることは、保育士不足そのものの問題を解決するものではないことや、国の動向を注視する必要があると考えることなどから、採択には至らないものと考えます。

賛成

4・5歳児30人に対して保育士1人という国の基準は70年以上変更されておらず、昨今の待機児童の問題や保育園での事故等は保育士不足等が大きく関係していることから、本陳情に賛成する。

● 陳情第12号

加齢性難聴者の補聴器購入に係わる公費支援制度の創設を求める陳情書



(陳情の趣旨)

加齢性難聴者の支援のため、補聴器購入に対する助成制度の創設や国民健康保険の特定健診等における聴力検査の実施、国に対して補聴器購入の支援制度創設についての意見書の提出を求めもの。

反対

加齢性難聴は、生活の質の低下を招く恐れもあることなど、趣旨について一部理解できるものであるが、市独自の補助制度の実施や60歳以上の聴力検査の実施を考えると、今後も社会保険費の増加が見込まれる厳しい状況の中で、財源確保や検査体制の整備などの面で課題があること。また、これらの取組効果の検証など、先進事例の調査研究も行っていく必要があると考えることから、現時点では、採択には至らないものとする。

賛成

高齢者福祉の拡充のため、支援制度の創設が必要と考えることから、本陳情に賛成する。
※議案等の審議結果については、4ページに掲載しています。

人事案件に同意

◆人権擁護委員

鳥井みゆき (向郷)
間宮淳子 (中島)

◆監査委員

鴫田源一 (折木沢)
古宮広明 (台)

◆教育委員会委員

渡邊俊介 (浦安市)

◆固定資産評価審査委員会委員

飯田朝夫 (箕輪)
中澤政義 (糸川)
大嵩正博 (中野)

一般会計補正予算

今定例会では、君津市一般会計補正予算(第9号・第10号)に係る議案の審議を行いました。これらの補正予算は交通安全施設整備や市民文化ホールの改修などに係る費用を主なものとして計上したものです。

主な事業の紹介

議案第36号
補正予算(第9号)

交通安全施設整備事業

3,040万円

国の補助金などを活用し、通学路における危険箇所解消のため、ガードパイプ設置等の安全対策を実施します。



校舎等維持補修事業

2,463万1千円

市内全小学校に防犯カメラを設置するとともに、南子安小学校プレハブ教室の耐力度調査を実施します。また、小・中学校校舎等において早期に修繕が必要な箇所の補修を実施します。

中古住宅取得補助事業

900万円

君津市戸建て中古住宅取得補助金について、当初の想定を上回る申請があったため、不足見込額を増額します。



議案第40号
補正予算(第10号)

清和地区拠点施設整備事業

490万1千円

旧秋元小学校における体育館の改修及び外構工事を実施します。
〔継続事業〕令和4年度、令和5年度



幼児教育・保育施設整備事業 (仮称) 貞元保育園整備事業

756万1千円

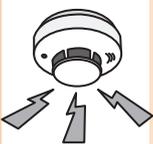
令和6年4月の開園に向けて、(仮称)貞元保育園の新築工事等を実施します。
〔継続事業〕令和4年度、令和5年度



市民文化ホール改修事業

7,491万円

君津市民文化ホールの自動火災報知設備について、全体的な改修を実施します。





令和4年 君津市議会 第1回臨時会 議案の審議結果

出席議員全員が賛成した議案（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名
議案第1号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	君津市学校給食費の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	令和4年度君津市一般会計補正予算（第7号）についての専決処分の承認を求めることについて
議案第4号	令和4年度君津市一般会計補正予算（第8号）



令和4年 君津市議会 第4回定例会 議案等の審議結果

出席議員全員が賛成した議案等（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第21号	君津市亀山コミュニティセンターの指定管理者の指定について
議案第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第22号	君津市地域福祉推進センターの指定管理者の指定について
議案第3号	監査委員の選任について	議案第23号	君津市老人憩いの家の指定管理者の指定について
議案第4号	監査委員の選任について	議案第24号	君津市小糸スポーツ広場の指定管理者の指定について
議案第5号	教育委員会委員の任命について	議案第26号	君津市農村環境改善センターの指定管理者の指定について
議案第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第27号	君津市久留里観光交流センターの指定管理者の指定について
議案第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第28号	君津市森林体験交流センターの指定管理者の指定について
議案第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第29号	君津市立公園（亀山湖畔公園）の指定管理者の指定について
議案第9号	君津市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	議案第30号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
議案第10号	君津市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	議案第31号	清和地区拠点施設整備工事（建築）請負契約の締結について
議案第11号	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第32号	清和地区拠点施設整備工事（電気）請負契約の締結について
議案第12号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	議案第33号	上総小櫃中学校屋内運動場大規模改造工事請負変更契約の締結について
議案第13号	一般職の職員の給与等に関する条例及び君津市任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第34号	市道路線の認定について
議案第14号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第35号	市道路線の認定について
議案第15号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第36号	令和4年度君津市一般会計補正予算（第9号）
議案第16号	君津市自然休養村管理センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第37号	令和4年度君津市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第17号	君津市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第38号	令和4年度君津市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第18号	君津市貞元コミュニティセンターの指定管理者の指定について	議案第39号	令和4年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第19号	君津市松丘コミュニティセンターの指定管理者の指定について	議案第40号	令和4年度君津市一般会計補正予算（第10号）
議案第20号	君津市南子安コミュニティセンターの指定管理者の指定について		

※議案第25号は撤回となりました。

賛否の分かれた議案等

◆陳情

陳情番号	件名	議決結果	令和新政		創政会		かがやき君津		きみつ未来		公明党		議派												
			三浦章	鶴岡一成	宇野晋平	村上幸人	須永和良	小倉靖幸	下田剣吾	保坂好一	高橋明	小林喜久男	齋藤利生	奈良輪政五	船田兼司	橋本礼子	石上壘	松本裕次郎	磯貝清	高橋健治	佐藤葉子	野上慎治	三浦道雄	鈴木高大	
陳情第11号	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書	● 不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
陳情第12号	加齢性難聴者の補聴器購入に係わる公費支援制度の創設を求める陳情書	● 不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席



市政を問う!

一般質問

Q&A

第4回定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。
各議員の質問の大綱については下記のとおりです（通告順）
マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

質問時間を60分から45分に短縮して一般質問を行いました。

佐藤 葉子 議員

P.6

公明党

- 人権が尊重され、誰もが輝く社会の実現について
- 障がい者福祉サービスの充実について
- 選挙投票の課題について

三浦 道雄 議員

P.7

諸派・日本共産党

- 市政運営について
- 福祉・医療行政について
- 教育行政について
- 環境行政について

下田 剣吾 議員

P.8

創政会

- 子どもたちのための学校統合について
- 脱炭素社会を実現するために
- 公共施設、用地の適正な管理について
- 若者、子育て支援について
- 消防団員と家族を支援するために
- 清和地区の大型車の増加について

石上 壘 議員

P.6

きみつ未来

- 子育て世代が住みやすいまちについて
- 行政サービスの向上について
- 持続可能な公共交通について
- 財政運営について

野上 慎治 議員

P.7

公明党

- 「ひとが集い活気があふれるまち」のための施策について
- 「幸齢社会」の実現について

須永 和良 議員

P.8

令和新政

- 公用車のカーシェアリング導入について
- 修学旅行（宿泊学習等）の無償化について
- 公文書の適切な管理について
- 予算編成における歳入の考え方について
- 君津駅周辺の空洞化と対策について

船田 兼司 議員

P.6

かがやき君津

- 教育環境整備について
- 土地利用の推進について
- 安心安全なまちづくりについて
- 公共施設の管理運営について

高橋 健治 議員

P.7

公明党

- 児童生徒の教育環境について
- 地域コミュニティの活性化について
- デジタル技術を活用したサービスについて
- 火葬業務の維持管理について
- 地域振興について



公明党
佐藤 葉子 議員

パートナーシップ制度の構築へ

Q 多様性を認め合うまちとして、LGBTなどのカップルの関係を公的に認めて様々なサービスを受けやすくするパートナーシップ制度の導入についての見解を伺う。

A 今後、市民アンケートを実施し、近隣3市と連携を図りながら制度構築に取り組み。

結婚を希望する方への支援

Q コロナ禍で婚姻数や出生数が大幅に減少しているが、住宅費等を補助する「結婚新生活支援事業」を実施しないか伺う。

A 経済的理由で結婚に踏み切れない希望者が多い中、新生活のスタートに係る負担軽減、結婚希望の実現に向けた後押しになることが期待されるため、少子化対策や定住促進対策の一つとして検討する。

医療的ケア児支援法の施行と医療的ケア児等への支援

Q 法律施行により、国や地方公共団体などは医療的ケア児への支援が「責務」となった。実態把握の方策や保育園・学校等での受入れについて伺う。

A 平成30年度の千葉県の調査結果を基に、関係機関からの情報収集等により随時更新を行い、実態把握に努めている。また、対象児童の発達に応じて、看護師を配置するなど適切に支援していく。

Q 医療的ケアが必要な方の短期入所先が不足している。病院等の空床利用で市内に確保できないか。

A 全国の先進事例を踏まえ、検討していく。

投票環境の改善を

Q 投票場への移動困難者が増加しているため、移動投票車を導入してはどうか伺う。

A 二重投票の防止等の観点から実施していないが、他市の事例を参考に調査研究していく。



きみつ未来
石上 塁 議員

子育て世代の負担軽減

Q 給食費無償化の今後の方向性と、医療費無償化対象を高校生まで拡大する事への見解を伺う。

A 給食費の完全無償化は令和5年3月まで実施。以降は、県の補助制度を活用し第3子以降の無償化実施に向け検討する。また、子ども医療費助成制度についても対象拡大の早期実現に向け検討する。

保育環境の整備・充実

Q 土曜日以外の休日保育の実施がない状況であるが、今後の考えを伺う。

A 民間事業者への働きかけを行うなど保育サービスの充実に取り組んでいく。

子育て支援体制

Q 国が示す妊娠から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済支援を一体とする事業と、赤ちゃん応援バック事業との整合性、及び、今後の事業展開について伺う。

A 赤ちゃん応援バック事業や、子育て世代包括支援センター「つみき」による包括的支援との整合性を図りながら、切れ目のない子育て支援体制の充実に努めていく。

子育て世代が住みやすい住環境整備

Q 中古住宅取得補助制度は、子育て世代の住宅取得に役立つと考えるが、利用状況について伺う。

A 令和2年度の制度開始からの利用状況は11月30日時点で107件、うち51件が子育て世帯であり、中古住宅を取得した方が子育て世帯に該当すると補助金が加算される。

民間活力導入のその後

Q 民間保育園と連携していくうえで、市の方針を定め、定期的な意見交換や市独自の検査等による運営の見守りが必要と考えるが、見解を伺う。

A 平成30年度に、君津市保育園連絡会を立ち上げ、年3回程度、交流や情報共有、課題に対する意見交換等を行っている。



かがやき君津
船田 兼司 議員

学校施設の総点検の結果及び今後の対応方針

Q 市内小中学校の多くが老朽化しており、壁面の亀裂、雨漏りや設備の不具合などが見受けられ、大規模改修を待たずに早急な対応が必要と考える。学校施設の総点検を夏休み期間中に実施したが、その結果と今後の改善に向けた取組の方針を伺う。

A 本年度は、施設老朽化の現状を再確認するため、本市の技術職員とともに総点検を実施した。軽微なものから大規模な改修が見込まれるものまで、中学校19校で1千200か所を超える不具合箇所を確認し、現在、優先順位づけを行い機動的に対応している。大規模改修工事など抜本的な整備は、個別施設計画第1期の令和12年度までに周西小学校などを予定している。所要の調整を行いつつ、計画的に取り組んでいく。

農地法に規定する下限面積廃止

Q 農地の権利取得時の下限面積要件が廃止となる見通しとその影響について伺う。

A 国において、下限面積の要件の廃止を含む「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律案」が可決され、令和4年7月27日に公布された。施行は令和5年4月1日予定である。下限面積が廃止されることで、小規模の事業による農地の活用の多様化が促進されると考える。

君津駅周辺から市役所周辺の土地利用

Q 公共施設の整備状況等の把握の上、計画的な土地利用の誘致を図ることだが、整備の必要な公共施設である市役所庁舎の整備の今後の見通しを伺う。

A 本庁舎の再整備については、令和9年度からの君津市総合計画後期基本計画において、方向性を明確にしたと考える。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員

日本一チャレンジする市役所を目指す

Q 市長は所信表明で「日本一チャレンジする市役所」を目指す、と発言したがその真意について伺う。

A 基本姿勢の一つ「君津をもっと元気にする」を実現するためには、職員が一丸となって、市役所を元気にしていく必要がある。今年度から「日本一チャレンジする市役所」を目指し、職員の意識改革に取り組み、一まずはやってみる、どんなことでも大いにチャレンジする「意識を醸成し、チャレンジ精神あふれる職員を育成していく」。

高い国民健康保険税の大幅引下げ

Q 全国知事会が国に対して市町村国保に1兆円の公費負担増を求めていることについて、引下げに向けた市の対応を伺う。

A 先月、市が所属する「千葉県国民健康保険団体連合会」や「国民健康保険中央会」等が合同で国へ財政支援の拡充を含む陳情書を提出したところであり、今後も国への要望や、千葉県国保連合会君津支部等の場を活用して近隣3市と情報交換を行っていく。

Q 子ども医療費を高校卒業まで無償化することについて伺う。

A 子育て世代の経済的な負担軽減と若い世代の安心感につながることから、高校生世代までの対象拡大の早期実現に向け検討していく。

新井総合施設株式会社の動向

Q 最近ダンブカーの台数が減少しているようだが、同社の動向及び第3期工事の進捗よく状況について伺う。

A 第3の1処分場への一日当たりの平均搬入台数は9月が21台、10月が12台、11月が13台となっている。第2期処分場は23層目の埋立りが終了し、最終覆土の準備が進められている。第3の2の1処分場が完成しており、第3期増設事業全体は、令和6年1月頃の竣工と推察している。11月29日には市長が現地に出向き、状況等を直接確認している。



公明党
野上 慎治 議員

地域コミュニティの再生を

Q 君津市を永続的に住みやすいまちにするには地域を活性化させ、地域住民のつながりを再構築する取組が必要と考えるが、進め方について伺う。

A 地域コミュニティの再生に向けて、地域をよく知る住民と行政が共にまちづくりや地域課題の解決に取り組む地域運営に関する新たな仕組みとして、まちづくり協議会を設置し、実現化を図る。このプロセスとして、既存の地域関係団体同士のネットワークの形成や地域住民の参画を推進するための取組を進めるほか、行政においても担当職員の配置のあり方を検討する。

ふるさと納税による歳入の増加を

Q 令和4年9月に本市のゴルフ場にふるさと納税ができる自販機を設置した効果について伺う。

A 本年9月から運用開始したふるさと納税自動販売機の実績は、9月が122万円、10月が189万円、年間換算で約1千800万円となる見込みである。今後、認知度が上がることにより、さらに寄附額が増えていくことを期待している。

認知症の方々を見守る仕組みを

Q 東京都大田区では、衣服や靴に貼りつけるシールやキーホルダーを配布している。そこには居住地の地域包括センターの電話番号と本人の登録番号が書かれており、包括に連絡すると本人確認ができる。本市においてもこのような見守りグッズを配布すべきと考えるが、見解を伺う。

A 大田区が実施している見守りグッズは、登録番号で管理していることから、個人情報に配慮した形となっているが、いつでも連絡に対応できる体制を構築する必要があり、実施については課題がある。本市の状況にふさわしい体制づくりについて調査研究する。



公明党
高橋 健治 議員

児童生徒の登下校時の負担軽減

Q 教材等を机の中などに置いて帰ることを認めるいわゆる置き勉についての本市の考え、現状を伺う。

A 技能教科等の教科書や資料集は学校で保管、管理を行い、必要に応じて持ち帰るなど、登下校時の負担軽減に努めている。今後も引き続き、児童生徒の安全に配慮しながら、登下校時の負担軽減に努めている。

公民館等の整備

Q 地域コミュニティづくりを進める上で地域の核となる公民館等の整備について伺う。

A 公民館機能の継続、また公民館施設単独ではなく、周辺の公共施設との複合化や多機能化を進め、地域のさらなる活性化につながる交流機能やにぎわいの創出を図り、持続可能な地域づくりにつながる施設とすることを基本方針としている。地域の特色に応じた各地区の活力を牽引する拠点づくりとなるよう、全庁を挙げて早期の整備に向け取り組んでいく。

マイナンバーカード

Q デジタル田園都市の実現のため、マイナンバーカードの普及は必要であると考えますが、マイナンバーカードの普及促進策について伺う。

A 今年度は市役所本庁舎において、全庁的な応援体制の下、申請や交付を受け付ける窓口を増設するとともに、企業や商業施設に向いて申請受付を行うなど、より幅広い申請機会の提供と円滑な交付に努めている。デジタル技術の活用による利便性と快適性を市民の皆様が最大限享受できるよう、マイナンバーカードの普及促進と利活用により取り組み、デジタル田園都市を本市で実現していく。



創政会
下田 剣吾 議員

清和地区の大型車（ダンプカー）増加に対策を

Q 周南地区での大型車の問題は大きく改善した一方、清和地区でダンプカーが増加し、多くの市民が怖い思いをしている。改善を求めるが、見解を伺う。

A 国道465号の特に西粟倉交差点から富津市への区間がダンプカーなどの通行路となっている。見通しが悪い箇所や幅員が狭い部分があるため、通行時間帯の厳守や速度抑制の対策を県君津土木事務所要望するとともに、千葉県ダンプカー協会に一層の安全運転への配慮を求めていく。

太陽光で4万4千世帯分の電力を発電する君津市

Q 農地や山林、住宅の屋根などを使ったメガソーラーも含めた再生可能エネルギーの現状を伺う。

A 11月現在、本市の太陽光発電認定件数は2千574件。発電能力の合計は148メガワット。国が選定する脱炭素先行地域を目指し、地域一体となって取り組む。

手厚い対策が進む木更津市に保育士が流出危機

Q 木更津市は子育て支援で様々な取組を行っている。本市の課題改善を提案してきたが、現状を伺う。

A 保育士不足対策として、木更津市では県の処遇改善の補助への上乗せや、市独自の保育士修学資金貸付制度などを展開している。本市でも人材派遣の活用などの取組を行っているが、保育士不足が続いていることから、新たな対策を検討する。

Q 本市の手当を木更津市並みの3万円にするには約2千500万円かかるが、保育士確保や待遇改善のため、対策の実施を提案するが、見解を伺う。

A 待機児童解消のため保育士確保は受皿の整備とともに重要な施策。保育士の流出防止や人材確保のため、処遇改善等を含め効果的な施策を検討していく。



令和新政
須永 和良 議員

君津駅周辺の空洞化と対策について

Q 君津駅周辺で大型施設の撤退が目につくようになり、空洞化が進んでいるように思うが、市の対策について伺う。

A 現在、都市計画マスタープラン及び立地適正計画の策定に取り組んでおり、今後は君津駅周辺を都市交流拠点として位置づけ、商業、医療、福祉など、都市機能の集積を図っていく。具体的には、積極的な民間誘導や投資を促す施策、公共用地や駐輪場などの低未利用地活用、空き家対策を含む住宅施策、老朽化した線人道橋の再整備など、君津駅周辺市街地のリノベーション構想を策定し、順次実現に努める。

修学旅行等の無償化について

Q 修学旅行の保護者負担金について、現状を伺う。

A 修学旅行の1人当たりの費用は、小学校では2万1千441円から2万7千790円の範囲、中学校では6万6千935円から7万8千867円の範囲となっている。市全体の総額は、約5千400万円である。

Q 子どもたちや保護者、また教育現場で働く人のためにも宿泊学習等は公費で負担し、競争入札により公平性と質の確保をすべきと考えるが、見解を伺う。

A 無償化となった場合には、保護者の負担が軽減されるというメリットがある。また、費用を学校で徴収する必要もなくなるため、学校職員の負担も軽減される。一方で、財源の確保等の問題もあり、今後、質の確保、契約の公平性、保護者負担のあり方についての視点などから、他市の取組を参考に、よりよい修学旅行の実施に向け検討していく。

議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることが出来ます。ぜひご視聴ください。

配信内容

定例会及び臨時会の本会議

注意

速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス方法

- ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック。
- ②左側に「本会議ライブ配信」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。



議会配信はこちらから



☆スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。通信費は利用者の負担になります。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案及び陳情をそれぞれ審査しました。
主な議案等の審査概要は、次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果（4ページ）を参照してください。

総務常任委員会

審査案件（議案第9号から議案第15号、議案第17号から議案第21号、議案第30号から議案第32号、議案第36号、議案第37号、議案第39号、議案第40号）

◆議案第9号

個人情報の保護に関する法律施行条例の制定

（内容）令和3年に改正された個人情報の保護に関する法律が令和5年4月1日から施行されることに伴い、同法の適用に必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するもので、附則において、現行の君津市個人情報保護条例の廃止を行うとともに、4つの条例の一部を改正しようとするもの。また、本市における個人情報の取扱いについては、現行の制度と同様とするもの。

問 開示請求に係る手数料について伺う。

答 手数料については、現行と同様、情報公開に係る開示請求については1件につき300円、保有個人情報に係る開示請求については無料とし、いずれも、コピー代等の実費については、引き続き開示請求者の負担とするもの。

（全会一致で可決すべきものと決定）

◆議案第11号

職員の定年等に関する条例の改正

（内容）地方公務員法の一部改正に伴い、職

員の定年等に関する条例の一部を改正しようとするもので、主な改正内容としては、定年を令和5年度から2年ごとに1歳ずつ段階的に引き上げ、令和13年度に65歳とすること。また、60歳に達している管理職職員を係長級以下の職に配置する管理監督職勤務上限年齢制、いわゆる役職定年制を導入すること。また、高齢期職員の多様な働き方のニーズに対応するため、60歳以降、定年前に退職した職員については、本人の希望及び選考により、本来の定年年齢までを任期とした短時間勤務の職に採用すること。また、60歳に達する年度の前年度に任用、給与、退職手当に関する情報を提供し、60歳以降の勤務の意思を確認するもの。

問 新規採用者数への影響について伺う。

答 退職者数や再任用職員の増減を見極め、職員の年齢構成を考慮し、継続的に新規採用者を確保していく。

討論 役職定年後も職員のモチベーションを保ち、市民サービスが低下することがないよう、職員の意見を十分に踏まえながら制度を運用されたい。

（全会一致で可決すべきものと決定）

◆議案第18号から議案第21号

コミュニティセンターの指定管理者の指定

（内容）貞元、松丘、南子安、亀山の各コミュニティセンターの指定管理者として、令和5年4月1日から3年間、各地域のコミュニティ活動推進委員会を指定するため、議

会の議決を求めるもの。
問 指定候補者の応募について伺う。
答 限定公募によるもので、応募団体は各地域のコミュニティ活動推進委員会のみとなっている。

（全会一致で可決すべきものと決定）



市内のコミュニティセンター
（写真は亀山コミュニティセンター）

◆教育福祉常任委員会

審査案件（議案第22号から議案第24号、議案第33号、議案第36号、議案第38号、議案第40号、陳情第11号、陳情第12号）

◆議案第22号

君津市地域福祉推進センターの指定管理者の指定

（内容）令和5年4月1日から1年間、社会福祉法人君津市社会福祉協議会を指定管理者として指定するため、議会の議決を求めるもの。

問 今後の施設の方向性について伺う。

答 個別施設計画等に基づき、類似機能を有する施設に機能を集約していくこととしており、令和4年3月に利用者説明会を実施し、また、個別に利用者と話し合いを行

うなど、活動拠点を公民館や自治会館等へ移す準備をしていただいている。

（全会一致で可決すべきものと決定）



地域福祉推進センター ゆうゆう館

◆議案第23号

君津市老人憩いの家の指定管理者の指定

（内容）令和5年4月1日から3年間、公益社団法人君津市シルバー人材センターを指定管理者として指定するため、議会の議



老人憩いの家 すえよし

決を求めもの。

問 募集の団体要件に合致する事業者について伺う。

答 高齢者の就業機会の確保及び福祉の増進に資する目的で設立された法人等で、市内に事業所等を有する者という団体要件を満たすのは、当該団体のみと考える。

意見 観光客の利用の促進や経費削減の観点から、市外で温泉、温浴施設を運営している事業者も応募できるように要件にすることを検討されたい。
(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第24号

君津市小糸スポーツ広場の指定管理者の指定

(内容) 令和5年4月1日から3年間、小糸レーンボークラブを指定管理者として指定するため、議会の議決を求めもの。
(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第33号

上総小櫃中学校屋内運動場 大規模改造工事請負変更契約の締結

(内容) 令和3年12月17日に締結した工事請負契約において、賃金または物価上昇に基づく請負代金の増額が生じ、また、工事着工後の内外装の撤去に伴い、既存図と現況の違いによる改修方法の変更や、既存部材調査等により時間を要したことによる工事期限の延伸や諸経費等の増額を行うため、当初の請負金額に1千766万1千500円を増額し、変更後の請負金額を3億4千931万1千500円とする変更契約を締結しようとするもの。
問 変更の内容について伺う。

答 主なものとして、体育館のひさし部分において、再利用を予定していた既存の鉄



上総小櫃中屋内運動場

骨の腐食等により、撤去、改修費用を追加するもの。

問 工期の延長に伴う卒業式への影響について伺う。

答 卒業式の準備から当日まで体育館を使用できる予定であり、生徒に心配を与えないような形で工事を実施したいと考えている。
(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第36号 (補正予算)

校舎等維持補修事業

問 小学校への防犯カメラ設置について伺う。
答 対象は全小学校であり、今年度内の設置完了を予定している。
(全会一致で可決すべきものと決定)



◆議案第40号 (補正予算)

幼児教育・保育施設整備事業 (仮称) 貞元保育園整備事業

問 今定例会において、補正予算を提出した経緯等について伺う。

答 基本構想・基本計画に基づき、令和6年4月1日の開園に向け、(仮称)貞元保

育園の基本・実施設計が完了したことから、建設工事に係る補正予算を提出したもの。

問 施設整備費の増加理由について伺う。

答 基本計画では、類似施設等の整備事例から試算した金額でこれまで説明してきたところであるが、設計にあたり、整備面積が増加したことや、地盤改良が必要となったこと、また、昨今の資材費の高騰等により増加したもの。

問 補助金の活用について伺う。

答 施設整備方針として、持続可能な社会の実現に貢献する施設を目指してきたところであるが、園舎のZEB化については、電気料金等のランニングコストを考慮し、換気設備を第三種設備としたこと等の理由により、補助の対象外となったが、県産木材を使用した内装等の木質化による補助金の獲得を目指している。

問 設備をオール電化にすることについて伺う。

答 導入費用が想定より高額となったが、ランニングコストの観点から、電気を使用する方が有利であることや、環境グリーン都市宣言をしている本市にとって、環境負荷の低減や、脱炭素社会の実現を目指すため、決定したもの。

討論 新たな子育て拠点の建設に向けた努力は理解できるものの、公共施設の総合管理の観点から、トータルコスト

への意識や経費の節減、補助金の獲得について熟慮され、よりよい保育園となるよう取り組まされたい。
(全会一致で可決すべきものと決定)



(仮称)貞元保育園 屋内イメージ図

建設経済常任委員会

審査案件 (議案第16号、議案第26号から議案第29号、議案第34号から議案第36号)

◆議案第16号

君津市自然休養村管理センター設置及び管理に関する条例の改正

(内容) 君津市自然休養村管理センターの廃止に向け、利用率の低い小会議室とロビーの使用を中止することにより、機能が縮小され、指定管理者による管理の効果が十分に得られなくなることから、指定管理者による管理を廃止するため、条例の一部を改正しようとするもの。

問 将来的な施設の方向性及び来年度以降の管理体制について伺う。

答 個別施設設計画の中で、管理棟などの建築物を廃止し、直売機能については、他の公共施設等での継続を検討する方針としていることから、近い将来、当該施設の売却に向けた手続に入りたいと考えている。また、現在、直売機能やコミュニケーション機能を持った会議スペース等については、市と地元で協議を進めているが、すぐに移転できる状況ではないことから、管理センターを市が直営で管理しようとするもので、職員については、会計年度任用職員を配置する予定である。

問 地元の関係者等との協議状況について伺う。

答 農産物の出荷先が遠くなることを心配する声などもあり、地元の生産者組合の方々と構成する移転に関する検討委員会と代替地における活動スペースの確保等について協議を重ねているところである。また、コスモス祭りについても別の場所で継続したいとの意向を聞いている。
(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第26号

君津市農村環境改善センターの指定管理者の指定

(内容) 令和5年4月1日から3年間、農村環境改善センター管理協力を指定管理者として指定するため、議会の議決を求めるもの。

(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第27号

君津市久留里観光交流センターの指定管理者の指定

(内容) 令和5年4月1日から3年間、一般社団法人君津市観光協会を指定管理者として指定するため、議会の議決を求めるもの。

問 当該施設における指定管理と自主事業の関係について伺う。

答 観光協会は令和4年10月から、自主事業として「酒ミュージアム」を開始しており、地酒の試飲や販売等による収益は観光協会の収入となっている。今後も、当該事業に限らず様々な自主事業や収益を上げられる事業を行っていくことが、観光協会が自立する契機となり、本市の観光振興にもつながっていくものと考えられる。

(全会一致で可決すべきものと決定)



観光交流センター内の酒ミュージアム

◆議案第28号

君津市森林体験交流センターの指定管理者の指定

(内容) 令和5年4月1日から3年間、特定非営利活動法人ワークスグループを指定管理者として指定するため、議会の議決を求めるもの。

問 指定候補者からの提案内容について伺う。

答 指定候補者は、子どもの学習支援事業をはじめとして、幅広く事業を展開しており、今回の提案内容についても、森林体験や木工教室等の自主事業を通じて、森林や環境に対する教育などを図っていきいたいというものであった。

問 地元と連携した取組の実施や施設の利用状況について伺う。

答 現在も自主事業として地元の職人を講師として招き、本市の伝統工芸品である「雨城楊枝」を作る取組などを実施しているところである。また、当該施設は令和3年度、



森林体験交流センター(木のふるさと文化センター)

約1万1千人の利用があり、子どもの利用割合が高くなっている。

(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第29号

君津市立公園(亀山湖畔公園)の指定管理者の指定

(内容) 令和5年4月1日から3年間、亀山公園管理株式会社を指定管理者として指定するため、議会の議決を求めるもの。

問 業務内容及び指定管理料の内訳について伺う。

答 亀山湖畔公園は全部で九つの公園があり、そのうち二つの公園がキャンプ場となっている。主な業務はキャンプ場の管理、運営や公園の草刈り等の管理であり、人件費約1千600万円、事務費約180万円、管理費約570万円から収入を差し引いた額、約1千670万円が一年間の指定管理料となる。

意見 指定管理者制度に関し、今年度は、モニタリング制度を導入し、問題点の洗い出しや業務改善を図るなど、よりよい制度運用に向けて様々な取組を行っているところ



稲ヶ崎キャンプ場

であるが、指定管理者が固定化してきている新提案が出にくいことや、利用者の意見が市に伝わりにくいことなど、依然として課題があり、改善の余地があるものと考えられる。今後も、それぞれの施設が民間のノウハウをうまく活用し、地域の活力を生み出す施設となるよう、各部署が連携しながら、課題解決に向けた取組を推進するとともに、指定管理者制度のあり方の検討についても速やかに進めていただきたい。

(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第36号(補正予算)

交通安全施設整備事業

問 安全対策の実施箇所について伺う。

答 坂田地先の君津高校付近の坂道及び貞元地先の公会堂前の2か所において車道と歩道の間にガードパイプの設置を行うもの。

(全会一致で可決すべきものと決定)

設置前



設置後



貞元地先のガードパイプ

※議案第36号及び議案第40号の内容については3ページを参照して下さい



「きみさらず聖苑」が供用を開始しました



きみさらず聖苑は、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市の4市が共同で整備した新たな火葬場で、令和4年12月1日に供用を開始しました。同施設は、周辺環境と調和する外観や、環境性能に優れた設備を備えているほか、お別れ室や霊安室を設置し、多様なニーズに対応しています。

供用に先立ち、市議会では施設の見学を行ったほか、11月27日に開催された落成式には三浦議長、奈良輪副議長や、建設経済常任委員会の石上委員長、村上副委員長が出席しました。

研修会に参加しました

1月に開催された以下の研修に本市議会議員が参加しました。

- 1月17日 千葉県南市議会議長会 議員研修会
演題「自分の心が変われば、周りも変わる」
- 1月19日 かずさ四市議会議長会 議員研修会
演題「議会における政治倫理～パワハラ・セクハラについて～」



行政視察で本市を訪問

1月20日、石川県志賀町議会しかまちが本市を訪問し、「学校再編・小中一貫教育」及び「君津市商工・観光アクションプラン」について視察研修を行いました。事業の説明が終わると多くの質疑があり、活発な意見交換が行われました。



スマートフォン用アプリ「マチイロ」で「議会だより」をご覧ください。

アプリをダウンロードし、「お住まいの地域」で君津市を選択すると、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。



Android用
スマホ・タブレット▼



iOS用
i-Phone・iPadなど▼



※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担になります。

令和5年 第1回定例会 2月16日(木) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／奈良輪 政五
- 副委員長／須永 和良
- 委員／佐藤 葉子 石上 壘 小倉 靖幸

- 発行／令和5年2月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>